# 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月29日

上場会社名　アルビス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　7475　URL http://www.albis.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 池田 和男
問合せ先責任者　(役職名) 取締役執行役員 財務本部長　(氏名) 吉川 透　TEL 0766-56-7200

四半期報告書提出予定日　2021年2月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第3四半期 | 71,803 | 9.1 | 1,934 | 163.8 | 2,320 | 109.2 | 1,444 | 111.8 |
| 2020年3月期第3四半期 | 65,833 | 5.7 | 733 | △65.5 | 1,109 | △54.5 | 681 | △62.5 |

(注) 包括利益　2021年3月期第3四半期　1,470百万円 (111.8%)　2020年3月期第3四半期　694百万円 (△59.6%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期第3四半期 | 165.07 | ― |
| 2020年3月期第3四半期 | 76.42 | ― |

### (2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2021年3月期第3四半期 | 48,396 | 27,940 | 57.7 | 3,193.81 |
| 2020年3月期 | 46,128 | 27,082 | 58.7 | 3,095.68 |

(参考) 自己資本　2021年3月期第3四半期　27,940百万円　2020年3月期　27,082百万円

## 2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | ― | 35.00 | ― | 35.00 | 70.00 |
| 2021年3月期 | ― | 35.00 | ― | | |
| 2021年3月期(予想) | | | | 35.00 | 70.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

## 3. 2021年 3月期の連結業績予想(2020年 4月 1日～2021年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 93,754 | 7.4 | 1,893 | 73.8 | 2,413 | 57.2 | 1,465 | 57.8 | 167.48 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　：　無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
　① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無
　② ①以外の会計方針の変更　：　無
　③ 会計上の見積りの変更　：　有
　④ 修正再表示　：　無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2021年3月期3Q | 9,255,926 株 | 2020年3月期 | 9,255,926 株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年3月期3Q | 507,559 株 | 2020年3月期 | 507,479 株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2021年3月期3Q | 8,748,399 株 | 2020年3月期3Q | 8,921,234 株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1．当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（会計上の見積りの変更） …… 8
（追加情報） …… 8

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大する中、輸出やインバウンド消費の減少、緊急事態宣言による社会経済活動の制限等により景気は悪化し、きわめて厳しい状況となりました。緊急事態宣言解除後においては、厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待されていましたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、先行きが不透明な状況が続いております。

食品小売業界におきましては、外出自粛要請や移動制限等で内食需要が高まる一方、雇用環境の悪化による消費者マインドの低下が予想され、業種業態を超えた競争の激化、人件費の上昇等、経営環境はさらに厳しい状況となっております。

このような環境の中、当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底し、食のライフラインを守るため店舗の営業を継続してまいりました。

また、第二次中期経営計画（第53期～第55期）の２期目として、経営方針「地域に根ざした一番店を創る」を実現するために、「お客様に満足していただける店づくり」「自立して考え行動できる従業員の育成」「バックシステムを活用した生産性の向上と業務改革」の各施策に取り組んでおります。

お客様に満足していただける店づくりへの取組みとして、お客様のニーズが高い主力商品の販売を強化するとともに、当社がすすめる名物商品の訴求に取り組んでおります。また、2020年12月には、農林水産省の「令和２年度品目横断的販売促進緊急対策事業（うち地域の創意による販売促進事業）」に参画し、全店舗で「生産者応援フェア」を開催して高品質な農水産物の販売を強化しました。

新たな取組みとして、移動販売事業（とくし丸事業）と販売促進ツール「アルビスアプリ」を開始しました。移動販売事業では現在５台の移動販売車が稼動しており、今後さらに販売エリアの拡大を計画しております。「アルビスアプリ」では、クーポン、レシピ動画、イベント案内等、お客様に役立つ情報を直接かつタイムリーに提供しており、現在ダウンロード数約８万件と目標の10万件に向けて順調に伸長しております。

社会貢献活動の取組みとしては、富山市、羽咋市および宝達志水町と「地域見守り活動に関する協定」を締結し、また、富山県と「包括連携協定」を締結しました。当社は今後も事業を通じて地域の皆様がより安心して生活ができるサービスを提供してまいります。

店舗の出店・改装につきましては、「小松幸町店」を建替えオープンし、「田上店」「米島店」「野々市三納店」「アリス店」「大島店」の５店舗の改装を行いました。今後は、「さばえ鳥羽店」の新規出店、「オレンジマートモア店」（改装後「アルビス八尾店」に店名変更）の改装を計画しております。なお、「オレンジマートパピ店」「オレンジマート宮野店」は、それぞれ「アルビス婦中速星店」「アルビス宮野店」への店名変更を予定しております。

また、店舗の収益力と生産性を向上させるために、第55期に予定していた投資のうち、「安原中央店」の改装と複数店舗におけるレジ機のセミセルフ化を第54期中に先行して実施することを計画しております。

自立して考え行動できる従業員の育成への取組みとしては、管理職向けにマネジメント研修教育プログラムを実行しております。

生産性向上と業務改革の取組みとしては、プロセスセンターにおいて商品供給の安定化と業務の可視化による原価改善に努めており、また、店舗においては、新基幹システムを活用し、業務の効率化と売場の改善、販売計画から売場展開に至る効率的な運用や数値管理の精度向上を図っております。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間は、主力商品の販売強化や、新型コロナウイルス感染拡大に伴う内食需要の高まりと衛生関連商品の売上増加のほか、前期に出店した３店舗と当期に出店した１店舗の売上増加、移動販売事業や生産者応援フェア等の新規施策により、営業収益71,803百万円（前年同期比9.1％増）となりました。

利益面につきましては、売上高の増加および店舗の生産性向上やプロセスセンターの原価改善等により売上総利益が増加しました。一方、出店に係る人員の増加や従業員への慰労金支給等による人件費の増加、売上増加に伴う販売費や物流費等の増加、感染拡大防止策関連費用等の各費用も増加しましたが、売上総利益の増加幅が大きかったことにより、営業利益1,934百万円（前年同期比163.8％増）、経常利益2,320百万円（前年同期比109.2％増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、遊休資産等に係る減損損失164百万円を計上したこと等により、1,444百万円（前年同期比111.8％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,267百万円増加し、48,396百万円となりました。

この主な要因は現金及び預金の増加額2,228百万円、売掛金の増加額945百万円、建物及び構築物（純額）の減少額147百万円、有形固定資産その他(純額）の減少額667百万円、敷金及び保証金の増加額129百万円等によるものであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1,409百万円増加し、20,455百万円となりました。

この主な要因は買掛金の増加額1,746百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少額296百万円、未払法人税等の増加額246百万円、賞与引当金の減少額120百万円、流動負債その他の増加額1,225百万円、長期借入金の減少額1,432百万円、資産除去債務の増加額213百万円、固定負債その他の減少額158百万円等によるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ858百万円増加し、27,940百万円となりました。

この主な要因は利益剰余金の増加額831百万円等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年３月期の通期の連結業績につきましては、2020年７月31日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

## ２．四半期連結財務諸表及び主な注記

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>(2020年３月31日) | 当第３四半期連結会計期間<br>(2020年12月31日) |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,651,046 | 6,879,416 |
| 売掛金 | 1,881,393 | 2,826,405 |
| 商品 | 1,969,280 | 1,982,793 |
| 原材料及び貯蔵品 | 139,711 | 211,735 |
| その他 | 1,062,517 | 971,844 |
| 貸倒引当金 | △3,150 | △5,332 |
| 流動資産合計 | 9,700,797 | 12,866,863 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 15,796,268 | 15,648,517 |
| 土地 | 11,340,717 | 11,340,507 |
| その他（純額） | 3,311,560 | 2,644,349 |
| 有形固定資産合計 | 30,448,546 | 29,633,374 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 186,303 | 151,371 |
| その他 | 960,304 | 872,866 |
| 無形固定資産合計 | 1,146,608 | 1,024,237 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 3,305,997 | 3,435,693 |
| その他 | 1,683,159 | 1,625,285 |
| 貸倒引当金 | △156,172 | △188,997 |
| 投資その他の資産合計 | 4,832,984 | 4,871,980 |
| 固定資産合計 | 36,428,139 | 35,529,593 |
| 資産合計 | 46,128,937 | 48,396,456 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 4,909,607 | 6,656,026 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,553,293 | 2,256,850 |
| 未払法人税等 | 236,313 | 482,350 |
| 賞与引当金 | 505,142 | 384,961 |
| その他 | 3,227,009 | 4,452,625 |
| 流動負債合計 | 11,431,366 | 14,232,814 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 5,313,096 | 3,880,745 |
| 受入敷金保証金 | 641,529 | 629,679 |
| 退職給付に係る負債 | 28,827 | 25,680 |
| 資産除去債務 | 682,386 | 896,010 |
| その他 | 949,342 | 790,890 |
| 固定負債合計 | 7,615,181 | 6,223,005 |
| 負債合計 | 19,046,548 | 20,455,820 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>(2020年３月31日) | 当第３四半期連結会計期間<br>(2020年12月31日) |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,908,337 | 4,908,337 |
| 資本剰余金 | 5,633,238 | 5,633,238 |
| 利益剰余金 | 17,773,791 | 18,605,474 |
| 自己株式 | △1,232,723 | △1,232,934 |
| 株主資本合計 | 27,082,644 | 27,914,116 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △254 | 26,520 |
| その他の包括利益累計額合計 | △254 | 26,520 |
| 純資産合計 | 27,082,389 | 27,940,636 |
| 負債純資産合計 | 46,128,937 | 48,396,456 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　2019年４月１日<br>至　2019年12月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　2020年４月１日<br>至　2020年12月31日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 65,038,250 | 70,999,922 |
| 売上原価 | 46,423,275 | 50,093,974 |
| 売上総利益 | 18,614,974 | 20,905,948 |
| 不動産賃貸収入 | 795,520 | 803,677 |
| 営業総利益 | 19,410,495 | 21,709,625 |
| 販売費及び一般管理費 | 18,677,229 | 19,775,567 |
| 営業利益 | 733,265 | 1,934,058 |
| 営業外収益 | | |
| 　受取利息 | 12,157 | 10,082 |
| 　受取配当金 | 40,480 | 16,113 |
| 　受取手数料 | 32,020 | 34,771 |
| 　受取販売奨励金 | 97,226 | 112,470 |
| 　その他 | 284,641 | 262,063 |
| 　営業外収益合計 | 466,526 | 435,500 |
| 営業外費用 | | |
| 　支払利息 | 37,032 | 17,735 |
| 　その他 | 53,265 | 30,859 |
| 　営業外費用合計 | 90,297 | 48,595 |
| 経常利益 | 1,109,494 | 2,320,964 |
| 特別損失 | | |
| 　減損損失 | － | 164,652 |
| 　投資有価証券評価損 | 44,478 | － |
| 　特別損失合計 | 44,478 | 164,652 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,065,016 | 2,156,311 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 339,221 | 693,508 |
| 法人税等調整額 | 44,072 | 18,730 |
| 法人税等合計 | 383,293 | 712,239 |
| 四半期純利益 | 681,722 | 1,444,072 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 681,722 | 1,444,072 |

（四半期連結包括利益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　2019年４月１日<br>至　2019年12月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　2020年４月１日<br>至　2020年12月31日） |
|---|---:|---:|
| 四半期純利益 | 681,722 | 1,444,072 |
| その他の包括利益 | | |
| 　その他有価証券評価差額金 | 12,566 | 26,774 |
| 　その他の包括利益合計 | 12,566 | 26,774 |
| 四半期包括利益 | 694,288 | 1,470,846 |
| （内訳） | | |
| 　親会社株主に係る四半期包括利益 | 694,288 | 1,470,846 |
| 　非支配株主に係る四半期包括利益 | － | － |

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

（資産除去債務の見積額の変更）

第１四半期連結会計期間において、店舗の不動産賃貸契約に伴う原状回復義務等として計上していた資産除去債務について、店舗の解体撤去費用の新たな情報の入手に伴い、原状回復費用に関して見積りの変更を行いました。

この見積りの変更による増加額150,718千円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。

なお、変更に伴って計上した有形固定資産については、その全額を減損損失として処理したため、当第３四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は150,718千円減少しております。

（追加情報）

新型コロナウイルス感染症の影響については、前連結会計年度末の仮定から重要な変更を行っておらず、当社グループでは、固定資産の減損等に係る会計上の見積りに大きな影響を与えるものではないと判断しております。